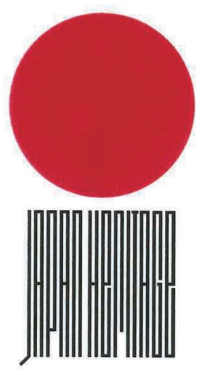


日本遺産とは



JAPAN HERITAGE

日本遺産

「日本遺産 (Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけではなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

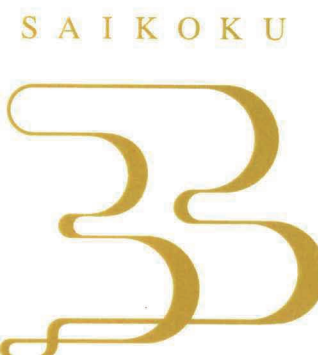
琵琶湖とその水辺景観 ～祈りと暮らしの水遺産～



Shiga Biwako
JAPAN HERITAGE

水は、日本人にとって単なる資源ではなく、精神に深くかわる特別な存在です。人々は、水を敬い、水を巧みに生活の中に取り込むことで、日本ならではの「和のくらしや祈りの姿」を築いてきました。滋賀県は、近江盆地の中央に「琵琶湖」を有し、周辺の山麓に降った雨が河川をつたって流れ込む水の豊富な地域であり、和のくらしと祈りを映す「水の文化」が各地で生まれ育って、今日に伝わっています。

1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～



観音巡礼

2府5県(京都、大阪、和歌山、奈良、兵庫、滋賀、岐阜)に広がる日本最古の巡礼道として知られ、閻魔大王に選ばれた、観音菩薩をまつる33の寺院を西国三十三所といひます。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。観音菩薩を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼です。

【日本遺産における近江八幡市内の構成文化財】

近江八幡市域は、琵琶湖畔での祈り・暮らしの原風景が残る貴重な物です。日本遺産琵琶湖の近江八幡市での構成要素は、天台修験の聖地であり、湖東の拠点である「伊崎寺」、今に続く水辺の観音霊場である「長命寺」、人と暮らしの原風景として琵琶湖の水辺が今に残る、重要文化的景観「近江八幡の水郷」、淡水湖の島の暮らし自体が貴重な「沖島」の4つです。

近江八幡の町を楽しくより詳しく (観光ボランティアガイドのご案内)

【近江八幡エリア】

- ・申込方法 5日前までに、いずれかの方法にて(郵送、FAX、HP)お申込み下さい。
<https://omi8guide.com/>
- ・費用 ガイド経費(交通費含む)として、ガイド1名につき、3時間まで1,500円(沖島のガイドは2,000円+渡船料)、3時間超は2,500円(沖島ガイドは3,500円+渡船料)を申し受けます。



【安土エリア】

- ・申込方法 8日前までに、いずれかの方法にて(郵送、FAX、HP)お申込み下さい。
<https://azuchi-vg.com/>
- ・費用 半日1,500円、1日2,500円
昼食代は1,000円とします。



近江八幡駅北口観光案内所

(近江八幡観光ボランティアガイド受付所)
〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町無番地
近江八幡駅北口観光案内所内

【TEL】0748-33-6061 【FAX】0748-32-4125

安土駅観光案内所

〒521-1341 近江八幡市安土町上豊浦1303

【TEL】0748-46-4234 【FAX】0748-46-4234

共通

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】年末年始(12/29～1/3)

(4月・5月・10月・11月を除く月曜は休館。)

※祝日は開館、祝日の翌日は休館)



2026年は、安土城築城開始から450年を迎えます。滋賀県では、謎に包まれた安土城の実像を解明し、目に見える形にすることにより、安土城の価値・魅力を発信し、県および地域の盛り上がりにつなげる「**幻の安土城復元プロジェクト**」を展開中です。具体的には、発掘調査公開・デジタル見える化(アプリ)の公開・記念特別展・記念シンポ等が予定されています。近江八幡市においても、地域の団体や関係者が集い、「**安土城築城450年協議会**」を設立し、「安土城築城450年を彩り、広げ、育む」を活動方針のテーマに掲げ、各種事業の実施や後援等を行ってまいります。

編集後記

近江八幡市と富士宮市は、日本一高い富士山と日本一大きい琵琶湖のご縁により、全国でも珍しい「夫婦都市」を結んでいます。60年近く、仲睦まじく様々な交流が今日にも続いています。

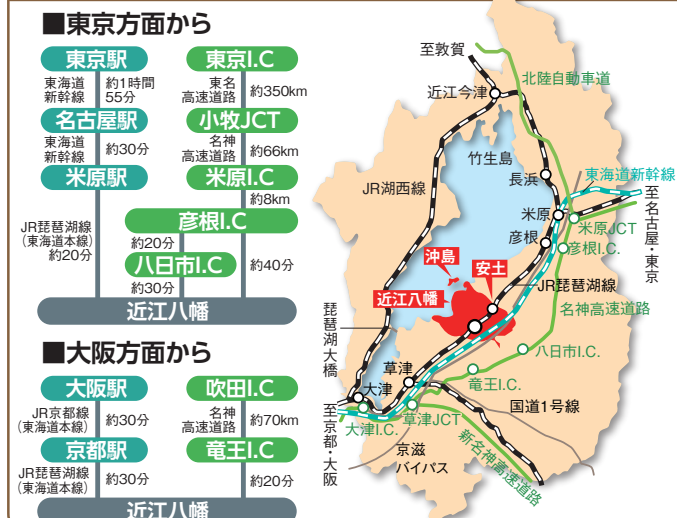
ただ、同じ日本一でありながら、その高さにより遠く離れたところからでも拝することが出来る富士山に対して、琵琶湖はその近く或いは周辺の山々からでなければ見られないことは大きな差です。

また、「霊峰富士」と称され、信仰の対象である富士山に対し、琵琶湖にはその対となる言葉がないのかと長らく思っていました。

しかしながら、平安時代末期の歌謡集『梁塵秘抄』には、「琵琶湖は天台薬師の池」と記された一文があります。これは、比叡山延暦寺を開創する際、伝教大師最澄が、薬師如来の理想郷である「水の浄土」として、琵琶湖を指した言葉とされています。

今回は、琵琶湖と共に暮らしてきた人たちの営みや祈りを感じて頂ければと日本遺産の特集号となりました。多くの方々への感心や再発見になればと願っています(田中)。

=交通のご案内=



伊崎寺

山号は長命寺と同じ姨綺耶山（いきやさん）。役行者が開かれたこの地に千日回峰行の祖・相応和尚が自作の不動明王3体を比叡山明王堂、葛川明王院と共に安置したのが始まりとされ、現在も天台修験の聖地のひとつです。毎年、8月1日の千日会には、琵琶湖の先端に張り出した棹の上から水に飛び込む荒行「棹飛び」など、水の聖地に結びついた寺として有名です。

近江八幡市白王町1391
☎0748-327828
<http://www.isakiji.jp/>
※駐車場から境内までは、約10ほど徒歩となります。



近江八幡の水郷

琵琶湖の内湖、西の湖の水辺に農地、ヨシ地、里山、自然が集落と共にあり、現在でも農業や集落と共により、現在でも農業や漁業、ヨシ産業などが暮らす人々の中で培われています。自然との共生により、景観が保たれ、失われつつある琵琶湖の原風景を残した貴重な地域です。国の重要な文化的景観（第1号）に選定され、ラムサール条約による保護湿地にもなっています。

水郷めぐりのご案内 <https://www.on8.com>



観音正寺

西国三十三所霊場の第三十二番札所で、山号は「観音山（きぬがさきん）」、605年、人魚の哀願により聖徳太子が建立したと伝えられています。インドの白壇が使用した高さ7mの千手観音菩薩像が安置されています。

近江八幡市安土町石寺2
観音正寺 ☎0748-462549
<https://kannonshoji.or.jp/>
入山料、車の方は、林道通行料、別途必要



「日本遺産（Japan Heritage）」は、地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を、地域が主体となり総合的に整備・活用することで、国内外に戦略的に発信し、地域の活性化を図ることを目的としています。

近江八幡市においては、滋賀県及び関係市町による「琵琶湖とその水辺景観一帯」と暮らしの水遺産、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～の構成資産が所在しています。

■おきしま通船時刻表

沖島漁港→堀切港		堀切港→沖島漁港	
平日	日・祝	平日	日・祝
07:05	07:15	07:15	07:45
07:30	07:45	07:45	08:15
08:00	08:00	08:15	08:15
08:00	08:00	08:15	08:15
09:00	09:00	09:15	09:15
10:00	10:00	10:15	10:15
12:00	12:00	12:15	12:15
14:00	14:00	14:15	14:15
16:00	16:00	16:15	16:15
17:00	17:00	17:15	17:15
18:10	18:10	18:30	18:30
19:30	19:30	19:45	19:45
20:45	20:45	21:00	21:00



日本遺産 長命寺



沖島

琵琶湖最大の島で、淡水湖にある島に集落があるのは世界的にも珍しく学術的にも注目されている島です。住民は今も漁業を主な生業とし、多種多様な湖魚の漁獲、加工、料理方法や生活習慣など島の生活様式すべてが重要な文化遺産です。もとは「神の島」で、無人島でしたが、平安時代に人が定住し、湖上交通の重要な拠点の一つであったと考えられています。

沖島町離島振興推進協議会
<https://montekite.com/>
船は、市内、堀切港より
定期船が運行中です。



長命寺

西国三十三所霊場の第三十一番札所で、山号は伊崎寺と同じく「姨綺耶山（いきやさん）」、古代の忠臣・武内宿禰が関わる霊山に本堂や諸堂の屋根が美しく重なり合う伽藍があります。本尊は千手観音十一面観音、聖観音三尊で、本尊と本堂、三重塔、護摩堂、鐘楼などとともに山内には多数の国・県・市指定文化財があります。

近江八幡市長命寺町157
長命寺 ☎0748-330031

